

# 西宮市男女共同参画センター「ウェーブ」

## 平成 23 年度事業報告書

平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月

1 . 講座の実施状況 .....	1
2 . 広報・啓発活動の状況 .....	7
3 . 男女共同参画センター利用統計 .....	8
4 . 活動・交流の支援 .....	10

# 1 . 講座の実施状況(平成23年4月～平成24年3月)

(主 催) テーマ『社会とつながる、人とつながる、思いを伝えるための「表現」』

## 男女の人権の尊重

	講座・講演会名	実施日	(定員) 参加者数	内 容 等
1	女性のためのやさしい心理学	7月1日 7月8日 7月15日 10:00～12:00	(延60名) 106名	男女共同参画の視点に基づくフェミニストカウンセリングの基礎的な知識を得ることにより、自らの心理的問題を解決する糸口を見つけ、従来の性別役割に捉われない生き方を選択できるように援助する。 講師：フェミニストカウンセラー 川喜多好恵
2	男女共同参画週間講演会	7月5日 10:00～12:00	(100名) 60名	国の基本計画の新たな重点分野である「男性、子どもにとっての男女共同参画」「貧困への支援」を受け、子どもが安心して自信をもって生きることができ、社会環境を考える。児童虐待や性虐待事件、貧困問題等、最近の子どもをめぐる状況を概観し、子どもが自尊心をもって生きることができる社会のために、大人が今すべきことについて考察する。 講師：エンパワメントセンター主宰 森田ゆり
3	先輩シングルマザーと弁護士に聞く 「離婚をめぐる 子ども・法律・お金の話」 子どものこと ～ひとり親家庭の子どもの思い・親の思い～ お金のこと ～制度を知って将来の生活に備える～ 法律の話 ～離婚に関する基本的な法的知識～	9月14日 9月28日 10月3日 10:00～12:00	(延120名) 延92名	先輩シングルマザーと弁護士に、離婚に関する情報を聞く。離婚に関する情報を得たい女性を対象に、NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西のメンバーと弁護士を講師に、離婚後の子どもとの関係、財産分与や養育費などの法律知識、損をしないお金の話などの具体的で役に立つ知識を得ることを目的とする。 講師： NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西 植田香代子 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西 大森順子 竹川法律事務所 弁護士 竹川幸子
4	女性への暴力をなくす運動コンサート PANSAKU トーク&ライブ ～たった一人のかけがえのない存在のあなたへ～	12月17日 13:00～15:00	(80名) 91名	「女性に対する暴力をなくす運動」にちなみ、「女性への暴力」は女性の人権を著しく侵害する克服すべき大きな問題である事を知り、現状を変えるために社会の一員として何が出来るかを考える。性暴力の被害者の被害者の支援を行う音楽活動をしているPANSAKUのコンサートを開催する。 講師：PANSAKU
5	DV被害を受けた母と子の回復	2月25日 10:00～12:00	(30名) 27名	DVは女性への暴力であり、子どもに対する虐待である。DV被害者は自分自身の回復と同時に子どもの回復を支える。母と子の回復を支えるために何が出来るかを学ぶ。 講師：フェミニストカウンセラー 竹之下雅代

6	<p>内閣府「地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣」事業</p> <p>いきぬく「男」の心理学</p> <p>「男の心理とストレス・マネジメント」</p> <p>「男性の悩みとパワーゲーム」</p> <p>「男性の心理とライフサイクル」</p>	<p>2月12日</p> <p>2月26日</p> <p>3月11日</p> <p>10:00～12:00</p>	<p>(延45名)</p> <p>延57名</p>	<p>3月の「自殺予防月間」に合わせ、職場や家庭でのストレスを感じている男性を対象に、男性心理の基礎的知識やストレス解消の糸口を知ることを目的に開催する。</p> <p>毎回、講義だけでなくワークショップ形式を取り入れ、男性の役割に関する自分自身の囚われや思い込みに気づくような内容とする。</p> <p>講師：</p> <p>1回目：産業カウンセラー 千葉征慶</p> <p>2回目：「男」悩みのホットライン 相談員</p> <p>3回目：カウンセリングオフィス天満橋代表 濱田智崇</p>
---	--	---	---------------------------	--

### あらゆる分野での男女共同参画の推進

	講座・講演会名	実施日	(定員) 参加者数	内容等
7	<p>[WAVE PRESS]企画編集講座 情報誌をつくる 市民が情報発信する時代 - 男女共同参画の視点から - 「WAVE PRESS12」を企画する デザインするという事 - デザイン・編集のプロに聞く -</p>	<p>6月1日</p> <p>6月8日</p> <p>6月15日</p> <p>10:00～12:00</p>	<p>(延18名)</p> <p>延11名</p>	<p>「WAVE PRESS」の目的である「市民がつくる、市民のための男女共同参画社会をめざす情報誌」を理解いただくとともに、編集全般の基礎について学ぶ。</p> <p>講師：神戸新聞・西宮市男女共同参画懇話会委員 神谷 郁代</p> <p>講師：ウェブ情報誌担当嘱託職員 泰間 妙子</p> <p>講師：グラフィックデザイナー 中西すみ子</p>
8	<p>婦人会リーダー研修会 「防災・災害復興と女性」</p>	<p>9月16日</p> <p>13:30～15:30</p>	<p>(40名)</p> <p>34名</p>	<p>地域団体である婦人会に対して男女共同参画の実現をめざす啓発講座として「防災・災害復興と女性」をテーマに講演会を開催。阪神淡路大震災の経験から具体例をあげてわかりやすく、防災を特別視しない、日ごろからの心がけにより減災に取り組み、自助・共助の大切さを学ぶとともに、女性の視点での地域防災・復興に取り組む必要性について学ぶ。</p> <p>講師：NPO法人政策研究所 専務理事 相川 康子</p>
9	<p>講演会 “震災から学ぶ”とは どうということなのか 苦しみを生きることを通じて、 災害という体験を乗り越える</p>	<p>10月1日</p> <p>10:00～12:00</p>	<p>(45名)</p> <p>25名</p>	<p>東日本大震災の復興のためには、長期にわたるさまざまな支援が必要になるため、「災害支援全体の質の向上」をめざす。精神面の「支援」に焦点をあて、支援の第一歩を踏み出すために、災害後のこころのケア、「自然な回復を支える支援」のあり方を中心に聞く。</p> <p>講師：兵庫県心のケアセンター主任研究員 臨床心理士 明石加代</p>
10	<p>体験を語る “震災から学ぶ”とは どうということなのか 阪神・淡路大震災と私</p>	<p>10月7日</p> <p>10月21日</p> <p>13:00～15:00</p>	<p>(延20名)</p> <p>延8名</p>	<p>被災者としての立場から、阪神淡路大震災を経験した講師に、エピソードを語っていただく。参加者の体験を重ね、被災を乗り越えた個人的な体験を、それぞれの「回復」として共有する。啓発冊子「震災から学ぶ」とはどうということなのか」の「私と震災」にエピソードを掲載する。</p> <p>講師：(株)プロセスコンサルティング取締役 編集者 親谷和枝</p>

## エンパワーメントの促進

	講座・講演会名	実施日	(定員) 参加者数	内容等
11	えんぴつ1本ではじめる イラストで描く自画像 モノを描く(思ったとおりに鉛筆 を動かしてみる) ヒトを描く(お気に入りの写真を 似顔絵にする) 仕上げ(自画像を作品にする ジ ョイントレビュー)	6月6日 6月13日 6月20日 10:00~12:30	(延45名) 延43名	ウェーブの年間テーマである『社会とつながる、 人とつながる、思いを伝えるための「表現」』シ リーズ講座。イラストの基本から学び、アピールし たい自分をイラストで表現する。自画像を描くこ とは、自分を知ることでもある。自分を見つめ、 表現したい自分を明確にする。 講師：イラストレーター 宮武小鈴
12	男女共同参画社会実現のための イベントプロデュース実践講座	10月12日 ~ 3月21日 (全12回) 10:00~12: 00	(延240名) 延111名	男女が共に仕事と家庭に関する責任を担う社会 の構築に向け、市民が抱える課題を共有し、課題 の解決のために資する催しや集会などのイベント を創造するスキルやイベントを企画するための基 礎知識を学ぶ。舞台の催しなどの現場の体験を通 じて、市民が自主的にイベントを開催する力を養 う。 講師：関西舞台芸術研究所 代表 森村暁子
13	自分を活かす 朗読表現	8月23日 8月30日 9月6日 9月13日 1:30~3:30	(延80名) 延82名	大きな声を出して朗読する基本と、朗読によっ て自分を表現する方法を学ぶ。有川浩著『阪急電 車』をテキストにして、自分を知り、型にとらわ れない、自分に合った朗読表現を創造する。 講師：ウェーブの登録グループ 朗読シアター 凜々

## 仕事と家庭・地域生活の両立

	講座・講演会名	日時	(定員) 参加者数	内容等
14	転勤族の妻から転勤族の妻たち へ	6月10日 10:00~12:00	(40名) 33名	転勤族や関西に転居してきた女性たちにウェーブ の存在や事業内容を知ってもらうとともに、転居に伴 う不安や子育て情報を話し合い、ネットワークをすす めることを目的とする。 ファシリテーター：グループ「転勤族の妻たち」
15	兵庫県委託事業「お父さん応援講座」 パパと子どもの 手づくりマジックコンテス ト	8月20日 10:00~12:00	(10名) 12名	国の基本計画の新たな重点分野である「男性、子ど もにとっての男女共同参画」が設けられたことをう け、男性が子育てに積極的にかかわるきっかけをつ くることを目的とする。 父と子がコミュニケーションを深めるために、一緒 に簡単なマジックの道具を工作し、それを使って実演 とコンテストを行う。その後、父親同士が子どもとの かわりやワーク・ライフ・バランスを実現するため の工夫などについて話し合う。 講師： ファザーリング・ジャパン(関西オフィス)の和田憲明 井岡和海(おやじ元気プログラム普及推進員)

## 共催

	講座・講演会名	日 時	(定員) 参加者数	内 容 等
16	全父子連 全国イベント・キャラバン事業 (独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振 興助成事業) ひとりできるもん！ 子どもが作るフレンチトースト～ パパと一緒に食べよう～  (全国父子家庭支援連絡会と共催)	1月15日 10:00～12:00	(12名) 16名	父子家庭のための生活向上と、参加者に父子家庭への関心を高める、父子家庭に対する認知を深めてもらう事を目的とする。 父子家庭のための生活力向上を目的に、子どもと父親を対象として、子どもの料理能力の向上と火を扱うための安全教育や食育の大切さを伝える。 講師：NPO法人全国父子家庭支援連絡会 代表理事 片山知行
17	全父子連 全国イベント・キャラバン事業 (独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振 興助成事業) パパの子育て！笑顔で子育て！ ～夫婦円満の極意とは～  (全国父子家庭支援連絡会と共催)	1月15日 13:30～15:30	(20名) 15名	父子家庭のための生活向上と、参加者に父子家庭への関心を高める、父子家庭に対する認知を深めてもらう事を目的とする。 男性の子育てに関心のある人を対象に、夫婦で子育てをするためのパートナーシップやコミュニケーションに関する講演会を実施する。 講師：NPO法人全国父子家庭支援連絡会 代表理事 片山知行
18	よりよい仕事と生活のための ワーク・ライフ・マネジメント  (勤労福祉課・研修厚生課 西宮労働者福祉協議会と共催)	1月24日 14:00～15:30	(350名) 254名	「自閉症の息子とうつ病の妻を支え、ビジネスマンとしての職責も十分に果たした」という講師自身の体験にもとづき、職員および関係団体の意識醸成に向け、「ワーク」と「ライフ」を「マネジメント」するための実践の心構えやヒントを学ぶ啓発事業を行う。 講師：(株)東レ経営研究所 特別顧問 佐々木常夫
19	就職支援セミナー 「応募書類の書き方」 「面接の受け方」  (ハローワーク西宮と共催)	2月3日 2月17日 10:00～12:00	(延40名) 延26名	子育てしながら働きたい人を対象として、履歴書や職務経歴書の書き方や面接の受け方として基本的なマナー等を学ぶ。就職の決まりやすい2～3月に向けて、早期再就職を目指すためこの時期に行うものとする。 講師：ハローワーク西宮 就職支援ナビゲーター 惣木美穂子
20	一時保育サポーター養成講座 (中央公民館と共催) 会場：中央公民館 塩瀬公民館	12月27日 3月5日 10:00～12:00	(延56名) 延80名	子育て期の親の学習を支援するため、講座開催時に託児に協力していただくボランティアを養成する。保育者の心構えや保育の手法を学ぶとともに、男女共同参加社会実現の必要性と一時保育ボランティアという活動による社会参加の意義を知っていただく。子どもを一時保育する際の接し方のスキルとボランティアとしての地域貢献について学習し、一時サポーターとして登録していただく。 講師：こどもコンサルタント 原坂一郎

## (出前)

	講座・講演会名	日 時	(定員) 参加者数	内 容 等
21	兵庫県立今津高等学校 2年次生総合郊外学習 「地域の支え合い」	10月26日 13:00～14:00	(20名) 14名	男女共同参画センターに訪問し、コミュニティや行政による地域の支え合いに対する興味・関心を深める。「総合的な学習の時間」の授業を通じて、自ら課題を設定し3年次での課題研究に接続する。 講師：男女共同参画センター長 藪内

22	現代日本の諸課題と 男女共同参画社会について  西宮市立西宮東高等学校への出前 講座 (会場：西宮東高等学校多目的室)	1月23日 11:10～12:10	(37名) 37名	西宮東高等学校からは毎年、人文・社会科学系コース選 択予定の1年生に向けて、男女共同参画について啓発す る。生徒に現代社会の課題を投げかけることで、社会との 関わり方について考えるきっかけになり、進学時の学部選 択での動機づけや今後の社会生活での参考となることを 期待する。 講師：情報アドバイザー 小川真知子
----	--	----------------------	--------------	---

(市民参画事業)

	講座・講演会名	日時	(定員) 参加者数	内容等
23	「第12回いきいきフェスタ」 ウェブ登録グループ及び市民有志 による実行委員会形式	10月15日 ～ 10月23日	(延735名) 延764名	・参加登録グループ 25 ・登録グループ企画講座 20 ・パネル展示(各団体活動紹介) 10 ・フェアトレード等物販 5 ・喫茶 1 ・パソコン体験 2

市民企画講座

	講座・講演会名	日時	(定員) 参加者数	内容等
24	絵本がつなぐ こころの絆	8月5日 9月5日 10月5日 10:00～12:00	(延90名) 延42名	孫と過ごす時間が多く、どのように接したらよいか 悩む祖父母の方、地域の子どもたちと触れ合いた いが、何をすればよいかお困りの方に絵本を読み聞か せることで、子どもたちが心豊かに成長し、大人もまた 色々なことに気づけることを伝える。 講師：NPO法人「絵本で子育て」センター所属 加藤美帆、安達光生、熊谷ひとみ
25	パパと一緒にリトミック	11月12日 11月20日 10:00～12:00	(延60名) 延46名	男性の育児参画をめざす。パパといっしょに、親子 で楽しく動いて、感性を育てる。 講師：ダルクローズ・リトミック国際指導免許講師 泉千草
26	「私にOKを出す！」 -自分を活かせる自分になる-	11月7日 11月14日 10:00～12:00	(延60名) 延53名	求められる役割に忙しい女性たち。社会からも置 いていかれたような疎外感や焦燥感を抱いている。そん な女性たちに、その役割から少し離れてしっかりと自 分と向き合う機会をつくる事で、自分を再発見し、肯 定し、社会との関わりを持つ自分と活力を見出す 講師：OFFICE CIAO代表 福田真弓
27	みんなで学ぶ 子どもの安心、 安全と人権	10月28日 10:00～12:00 (CAPおとなワ ークショップ) 11月12日 14:00～16:00 (子どもと学ぶ性 教育講座)	(延80名) 延54名	子どもとそれを取り巻く大人向けに、子どもの安全 と安心、人権を守るために知っておきたいことや子ど もへの接し方などを学ぶ。子ども自身も自分を大切に 思う気持ちや守る方法を学び、人権意識を持つことの 大切さを知ることで、男女共同参画意識の啓発につげ る。 講師：CAPにしのみや 性教育ファシリテーター 徳永桂子
28	ママデビュープロジェクト 2011	12月15日 1月26日 2月2日 3月1日 10:00～12:00	(延80名) 延62名	子育て中の母親たちが企画した、同じ世代の女性の 「やってみたい」を実現した講座。これから様々な分 野で活躍しようとしている、子育てだけでなく色々な ことにポジティブに生きる母親たちが講師。 講師：西谷 舞子 HIROKO 萩山 香里

29	みんなで考えよう 男の介護 オランダの尊厳死に聴く	1月28日 14:00~4:30 2月4日 14:00~4:30	(延90名) 延62名	妻の発病と闘病、死別後の家族の歩み、仕事と家事の両立の困難さを聞く。男女共同参画の視点から、従来の男女役割分担にとられない介護の啓発を目的とする。 語り手：小嶋慎司 聞き手：アットホームホスピス 吉田利康
----	------------------------------	---	----------------	--

### 協働事業提案

	講座・講演会名	日時	(定員) 参加者数	内容等
30	ドキュメント「チョコラ」 上映 と講演	6月12日 上映 18:00~ 講演 19:40~	(60名) 37名	アフリカ、ケニアのスラムで暮らす子どもたち。貧困、エイズ、家庭崩壊、都会への憧れ、通学への希望さまざまな問題を抱えていき抜くたくましさ。同じ地球上で生きる人々。世界的視野で社会問題を考える。 講師：モヨ・チルドレンセンター主宰 松下 照美
31	妻を看取る日 ~男の介護とは~	10月8日 13:30~16:30	(300名) 540名	市民介護力アップ、医療（専門職側）との連携、その中でも男性介護者の介護力アップは極めて重要である。男性介護啓発に取り組むことを目的とした事業。 講師：元国立がんセンター総長（財）日本対がん協会会長 垣添 忠生
32	親と子のいやしの音楽 (ドラム・サークル)	11月13日 14:30~16:00	(40名) 48名	音楽を通じてこころのケアと、絆を深め、エンパワメントを促進させ、自尊心を育て、自己肯定感を高くみます。一緒に演奏を聞き、歌い、一体感を体感する。 講師：声楽家 大藤元子 打楽器演奏者 保田稔美

## 2. 広報・啓発活動の状況

NO	広報媒体名	資料名・タイトル	規格等	活動エリア等
1	市政ニュース 6月25日号	男女共同参画週間特集記事	1/3 ページ	市内
2	西宮カルチャー・ イベント・カレンダー	男女共同参画センター - 主催講座等の開催について掲載		市内
3	さくらFM	「アットホームにしのみや グッド・オブ・コミュニティ」 男女共同参画センター 女性のための相談室について	4月19日(火) 19:00~19:45 4月20日(水) 8:10~ 8:55 のうち15分間ずつ	市内
4	宮っ子	男女共同参画センター - 主催講座等の開催について掲載		市内
5	ホームページ	男女共同参画センター ホームページ		インターネット
6	啓発用垂れ幕	「男女共同参画週間」6/23~6/29 啓発用垂れ幕	500cm×700cm 1枚	本庁舎正面玄関横 に設置
7	情報誌	ウェブ講座案内 (上・下半期分)	A3 両面2折 5,000部 (各2,500部)	市内及び 近隣他市等配布
		WAVE PRESS Vol.12	A3 両面2折 5,000部	
8	パネル展	男女共同参画週間パネル展	展示期間：6月中旬～6月末	男女共同参画センター
		女性に対する暴力をなくす運動 週間啓発パネル展	展示期間：10月下旬～	
		男女共同参画啓発パネル展	全紙サイズ 3枚 (展示期間:2月19日～3月8日)	甲東公民館
9	啓発誌	震災から学ぶということはどう いうことなのか	A5 16 ページ 3,000部	市内及び 近隣他市等配布
10	関連図書・チラシ パンフレット展示	西宮市女性チャレンジひろば	再就職、起業に関するチラシ等 情報資料配架(常設)	男女共同参画センター



### 3. 男女共同参画センター利用統計

#### 女性のための相談室

相談件数（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）

区分	件数 相談可能 回数	内 訳											
		生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦 関係	親子 家庭	人間 関係	性・性的 被害	暮らし	DV	セク ハラ	その他
電話相談	513	生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦 関係	親子 家庭	人間 関係	性・性的 被害	暮らし	DV	セク ハラ	その他
		18	145	11	7	49	101	70	6	6	65	2	33
面接相談	852 940	生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦 関係	親子 家庭	人間 関係	性・性的 被害	暮らし	DV	セク ハラ	その他
		102	119	0	28	83	211	22	3	0	282	1	1
法律相談	55 72	慰謝料	財産 分与	親権等	扶養	戸籍	金銭 貸借	DV	セク ハラ	性 被害	その 他		
		14	16	15	5	4	4	12	1	0	17		

法律相談は相談内容が複数の内訳に該当する場合がありますため、件数と内訳の合計が一致しないことがあります。

「夫婦関係」のうちDVに関するものは「DV」で集計しています。

面接相談者 1 人当りの相談回数は、今年度平均 4.9 回でした。

区 分		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
電話相談	件数	463	451	548	535	513
面接相談	件数 相談可能回数	582 755	557 740	543 735	602 750	852 940
法律相談	件数 相談可能回数	64 72	63 72	66 72	58 72	55 72

#### 女性のためのチャレンジ相談

内容等	実施日		(延相談可能 件数) 相談件数 経費	相談員
	火曜日 10:00～10:50 11:00～11:50	水曜日 13:00～13:50 14:00～14:50		
女性の再就職・起業・その他の方面へのチャレンジを旨とし、相談によって適切な支援機関の紹介を行ったり、希望職種に必要なスキルの取得をアドバイスするなど、不安の解消を旨とす。	4月12日 5月10日 6月14日 7月12日 8月9日 9月13日 10月11日 11月8日 12月13日 1月10日 2月14日 3月13日	8月17日 9月21日 10月19日 11月16日 12月21日 1月18日 2月15日 3月21日	(延53件) 延35件 192,000円	NPO法人 しんぐるまざあず・ ふぉーらむ・関西 中野冬美

## 図書・資料コーナー

図書（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）

累計登録者数 （人）	新規登録者数 （人）	貸出人数 （人）	貸出冊数			
			図書	雑誌	ビデオ	計
2,593	152	1,295	2,338	350	353	3,041
	月平均	108	195	29	29	253

蔵書数（平成 24 年 3 月末日現在）

図書	雑誌	ビデオ	計
4,966 冊	996 冊	262 本	6,224

情報相談（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）

	ウェブ 利用案内	資料の 所蔵・所在	特定の テーマ	企画・人材	グループ・施設	その他	計
件数	22	22	41	54	12	39	190

## 学習室

年度別利用状況（過去 5 年間）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
件数	3,726	4,083	4,149	4,621	4,777
稼働率	57.5%	63.2%	64.2%	71.5%	71.9%

- ・西宮市公共施設予約システム「まなびネットにしのみや」の稼働（H21 年度～）
- ・阪急西宮ガーデンズ開店（H20 年 11 月～）

月別利用状況（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	391	369	411	421	367	400	462	421	349	372	413	401
稼働率	72.4%	66.1%	76.1%	75.4%	65.8%	74.1%	82.8%	78.0%	69.2%	73.8%	79.1%	71.9%

## 4. 活動・交流の支援

西宮市男女共同参画センター登録グループ（平成24年3月末日現在）

登録グループ数 42グループ

NO	グループ名	活動内容
1	悠&遊 ノート de パソコンサークル	ノートパソコンを持参し、操作、活用法を粘り強く学習することで、男女とも、中高年のテクノデバイドの解消をめざす。
2	女・女西宮	女性差別の解消・女性問題の学習と行動。ビデオ上映会の開催。
3	ガールスカウト西宮市協議会	市内のガールスカウト運動の推進と発展の為に活動する。団の育成並びにリーダーの養成 市内各団体との連絡調整 ガールスカウト運動に関する啓発広報活動 未来を担う少女たちの育成活動を支援。
4	C A P にしのみや	子どもの人権意識の確立、大人（男女）子ども共に安心して自信を持って自由に生きていく 為にあらゆる暴力を許さない社会を目指す。C A P 活動の推進、子どもが様々な暴力やいじめから自分を守るプログラム、大人ワークショップ、子どもワークショップ（小・中学生向け・就学前向け）学習会ネットワーク作り。
5	現代を問う会	現代社会で起こる様々な問題を、社会的な視点から考え意見を交換する。男女が共通の基盤で問題の解決をはかる。
6	子育てネットワーク西宮	「一人じゃないよ、楽しもう子育て」をモットーに西宮市内の子育て中の親が集まり、親子遊び体験から親子の友達づくり、子育てサークル、地域サポーター、行政とのつながりを支援している。
7	ジャスミン	女性への暴力のない社会をつくるための学習会、講座の開催を行う。
8	新日本婦人の会西宮支部 女性と人権部	女性の地位向上のための学習活動。
9	転勤族の妻たち	「転勤族」という独特の生活スタイルの中で、孤立しがちな同じ悩みを抱える女性たちのネットワーク作りを目的としている。
10	西宮市地域婦人団体協議会	婦人の地位向上と地域社会の発展に資する。人権問題学習等。
11	西宮女性ネットの会	女性に対する政策について学習、研究し活動する。
12	西宮市連合婦人会	市内地区婦人会の連絡協調、進歩向上、社会の発展及び人権問題学習等。
13	西宮断酒新生会	男女共同参画の立場に立ち、酒害者本人だけでなく、妻子とともに、断酒会に参加して体験談を語り、アルコール依存症を克服して明るい家庭を気づいていく。
14	西宮母親大会連絡会	”生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます”のスローガンのもと、平和や教育、福祉、環境、子育てについて学習している。
15	西宮ユネスコ協会	「世界遺産活動」と「世界寺子屋活動」を中心に平和をめざす運動を行う。発展途上国には文字の読めない女性がまだまだ大きな比率を占めている。ユネスコではこの人たちの支援に力を入れている。
16	阪神カウンセリング心理学研究会	カウンセリング心理学・精神分析学・交流分析等を研修し、心の健康と男女がともに支えあい、能力や個性を十分に発揮できる人間関係を高め、癒しを求めている地域の福祉社会に寄与することを目的とする。
17	パンセ西宮	女性の労働について調査・学習し、男女共生社会をめざす。 人権を重視したワークライフバランスを目指す。
18	婦人民主クラブ阪神支部	女性の権利を守り、地位向上を図る。また、子どもと女性の幸せを守るために戦争をなくすよう力をつくす。
19	船出（Funade）	男女共同参画の視点で子育て仕事、家庭について情報発信、エッセイ集、新聞の発行を行う。
20	ペアテの会	個人の尊厳を基本として、男女平等、平和主義などを学習し、市民に広く広報しつつ男女共同参画社会をすすめる事を目的とする。
21	木馬の会	女性が手作りを通じ、社会参加・自己実現・経済的自立をめざす。ボランティア等の社会活動への取り組み、仕事作りへの取り組み、女性のエンパワメントとネットワーク作りへの取り組み、自然災害基金などによる社会貢献。

NO	グループ名	活動内容
22	蓮華草	ドメスティック・バイオレンスに悩む女性たちの話し合いの会
23	男楽会	男性が、自分らしく楽に生きるきっかけ、地域に生きる新しい自分を探すヒントをつかむため、諸問題について自由に語り、楽しい仲間作りをする。毎月1回例会を行い、テーマその他について語り合う。
24	西宮市男女共同参画センター「ウェブ」登録グループ協議会	登録グループ相互のつながりを広める。行政へ男女共同参画施策の充実をはかるよう提言し行政と良いパートナーシップを築く。
25	「婦人民主クラブ」阪神読者会 -たんぼぼの会-	「婦人民主新聞」を共に読んだり、お互いの仕事や生活の悩みを話し合う。反戦平和や女性、子どもの権利向上のための学習会や地域活動なども行う。
26	ITC西宮クラブ	女性が社会で活躍するために必要な基礎的な訓練を行うことを目的とする。リーダーシップ、組織運営、特にスピーチの訓練等。
27	ひまわり	「パートナーとの関係で悩む女性の語り合いグループ」講座修了生で結成。パートナーとのより良い関係を考える語り合いの会。
28	ルミエール	産後うつ・マタニティブルーの経験者の仲間作り・支えあい・情報交換を行う自助グループとして、出産・育児・家庭運営における男女共同参画を考えていく。
29	ゆうゆうYOGA	女性の生涯にわたる健康（リプロダクティブ・ヘルス・ライツ）の視点にたちヨガをとおして社会参加を行う。
30	ブニ・ボエ	フラダンスを通して女性の社会参加、自己実現、地域活動への参加、ボランティアへの参加を実行する。
31	しんぐるまざあず・ふぉーらむ・西宮	母子家庭当事者のおしゃべり会。
32	3月行動をよびかける女たち・ひょうご	仕事や暮らし・健康の悩みを話し合い、平和や女性・子どもの権利を守るための学習及び地域への呼びかけを行い、会員の親睦をはかる。
33	朗読シアター 凜々	朗読の勉強及び朗読劇の発表による女性のエンパワーメントの促進を図る。
34	つなぐ	男女共同参画社会の実現に向け、県の施策に協力して、情報収集・提供、（講座など）事業の企画・運営を通じて普及啓発、グループ活動などの活動を推進する。
35	絵がお	絵本とのかかわりを深めたいと思っている人たちが、絵本の読み聞かせを通して子どもたちが心豊かに成長していく手助けをするための活動をおこない、人権の尊重と人材の育成を目指す。
36	アットホームホスピス	男性介護者を支援する活動を行う。 家庭介護といえでの看取りを支援する活動を行う グリーフケアについて学習する。
37	ひだまり	事実を知ることの大切さを考える勉強会を中心に活動する。枠にとらわれない視点を持つことを目的とする。
38	たまり場	社会とつながりたい、サークル活動をしたい、もっとネットワークを広げたいというメンバーが学習しています。30代・40代女性の情報交換の場。
39	兵庫県男女共同参画推進員連絡会議・阪神南	男女共同参画社会実現に向け、県の施策に連携して、情報収集・提供、事業の企画・運営を通じて、人材育成、地域市民への気付きの機会提供・普及、グループ学習などの活動を推進する。
40	ブレラかだるべ	自分も相手も「尊重」するコミュニケーションへ向け、会話を通して学習と理解を深め、親子、夫婦、友人、同僚など、大切な人といいい関係を維持していく。
41	NPO法人阪神パソコンネット	障害者や高齢者に対して、生活支援及び社会参画促進に関する事業を行い、情報リテラシーの向上促進、障害者・高齢者と地域住民との交流促進によって、みんなで支え合えるまちづくりの構築に寄与する。
42	朗読の会・WA	自分を知り、型にとらわれない、自分にあった朗読表現によってエンパワーメントを促進し、男女共同参画社会の実現をめざす。